

[報 告]

**後藤英昭准教授と曾根秀昭教授の研究グループが
情報教育研究集会・最優秀論文賞を受賞しました**

サイバーサイエンスセンターの後藤英昭，曾根秀昭が，情報教育研究集会・最優秀論文賞を受賞しました。

本受賞は，平成 22 年度情報教育研究集会における下記の発表論文が高く評価されたものです。

対象論文：

「大学間無線 LAN ローミング基盤 eduroam の動向と容易な導入方法」 後藤英昭，曾根秀昭

（この賞は，情報教育に関する日本で最大の研究集会である情報教育研究集会において発表された論文・ポスターの中から，情報教育及び関連分野の教育研究を進める上で特に優れた成果と認められる若干の件数を選考し，表彰するもののうち，最も優秀な論文に与えられるものです。）

受賞理由：

情報教育および関連分野の教育・研究への大きな示唆と貢献。

研究背景：

サイバーサイエンスセンター・CSI 研究室は，国際的な学術系無線 LAN ローミング基盤である eduroam(エデュローム)を 2006 年に日本に初導入し，国立情報学研究所と共同で，国内の基盤である eduroam JP を立ち上げ，その運用および研究開発を行なってきました。欧州諸国と比較して桁違いに多い 1,200 以上もの高等教育機関を有する日本において，eduroam 導入の技術面および運用面のコスト低減は必須であり，これらを実現するための技術開発と評価運用を行なうとともに，キャンパスネットワークのユビキタス化に向けての研究開発などを推進しています。これらの一連の活動は，研究成果から実運用への適用と，多数機関の eduroam 参加促進の効果が実証されています。